

佐賀県畜産の概要



令和5年10月

佐賀県農林水産部畜産課

さが畜産GO×2プロジェクトとは、

県と農業団体等が一体となって課題解決に取り組み、
さが畜産のロールモデルとなる畜産農家と産地の創出を
目指すプロジェクトです。

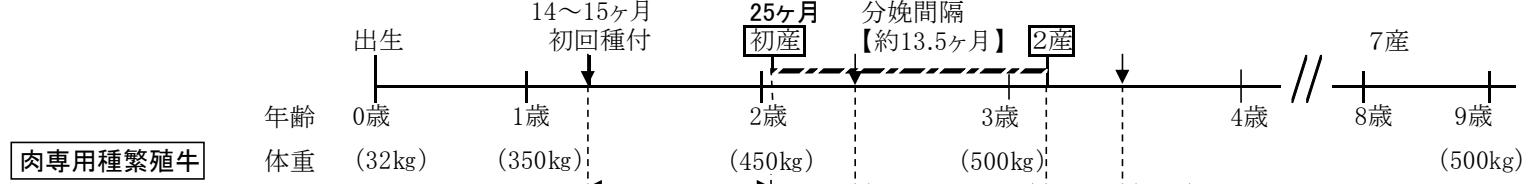


目次

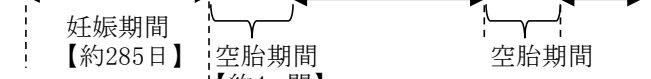
I	家畜のライフサイクル	P 1
	● 肉用牛・乳用牛のライフサイクル	P 2
	● 豚・肉用鶏・採卵鶏のライフサイクル	P 3
II	最近の畜産を巡る情勢	P 4
	● 佐賀県における農業産出額の推移	P 5
	● 肉用牛	P 6
	● 酪農	P10
	● 養豚	P12
	● 採卵鶏	P14
	● ブロイラー	P15
	● 飼料	P17
	● 佐賀県内で飼養されている牛、豚及び鶏一覧	P18
III	畜産物の生産・流通状況	P19
	● 牛乳（R3）・肉牛流通図（R4）	P20
	● 「佐賀牛」の概要	P21
	● 肉用牛改良資源施設飼養種雄牛一覧（R5年5月現在）	P22
	● 肉牛枝肉販売実績表（R元～R4年度）	P23
	● 佐賀牛・佐賀産和牛輸出量推移（～R4年度）	P24
	● 「肥前さくらポーク」の概要（生産体系）	P25
	● 肉豚・肥前さくらポーク流通図（H21・R4年度）	P26
	● 食料自給率・消費量の推移	P27
	● 家計調査	P28
IV	参考資料	P31
	● 配合飼料価格の推移について	P32
	● 高病原性鳥インフルエンザ等の解説	P33

I 家畜のライフサイクル

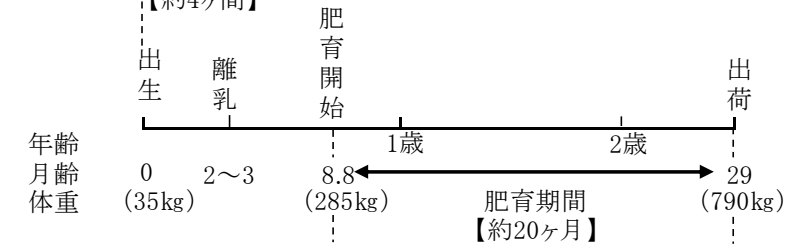
肉用牛のライフサイクル



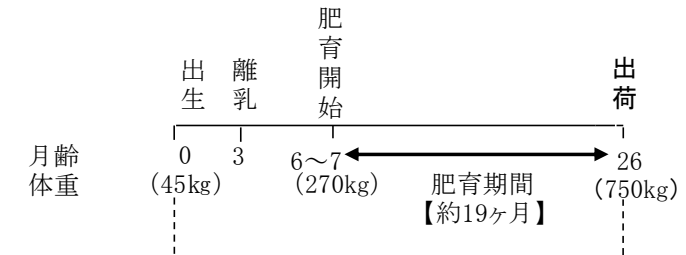
肉専用種繁殖牛



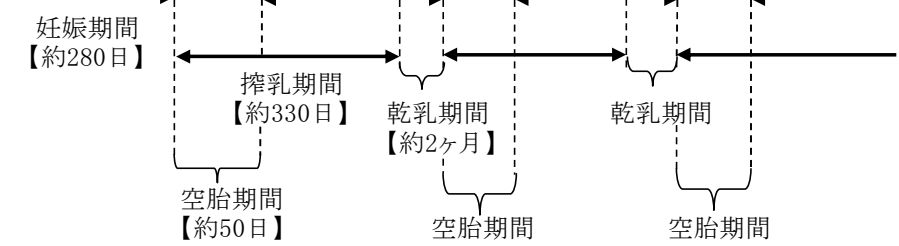
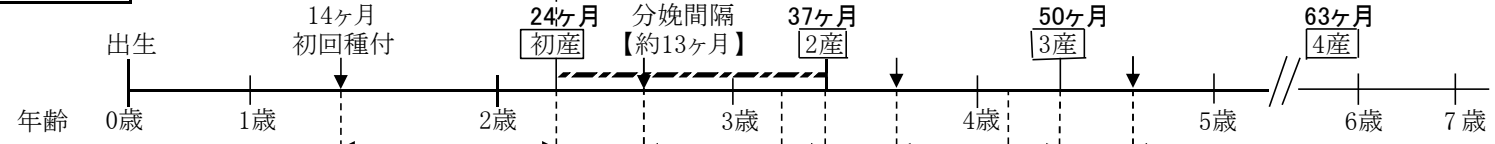
肉専用種肥育牛(去)



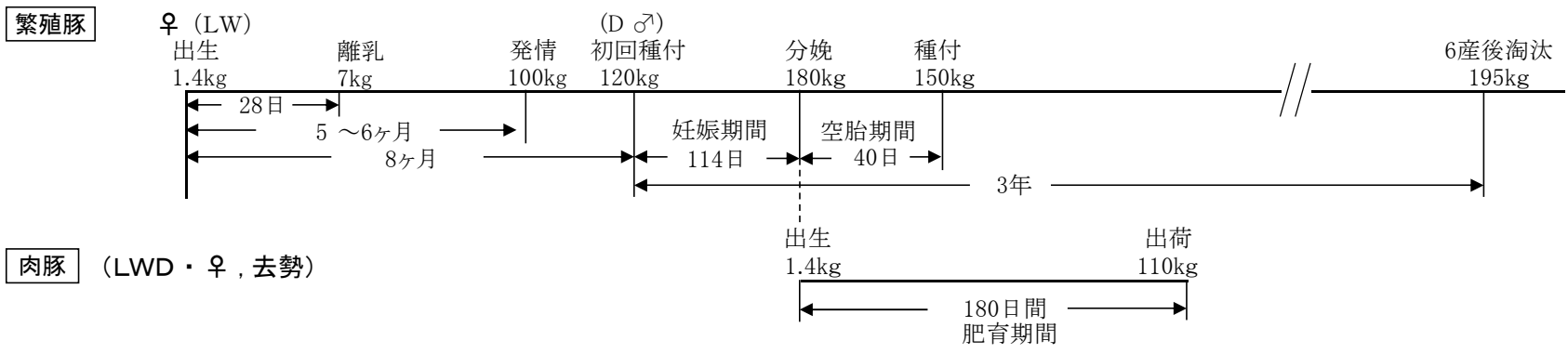
交雑種肥育牛



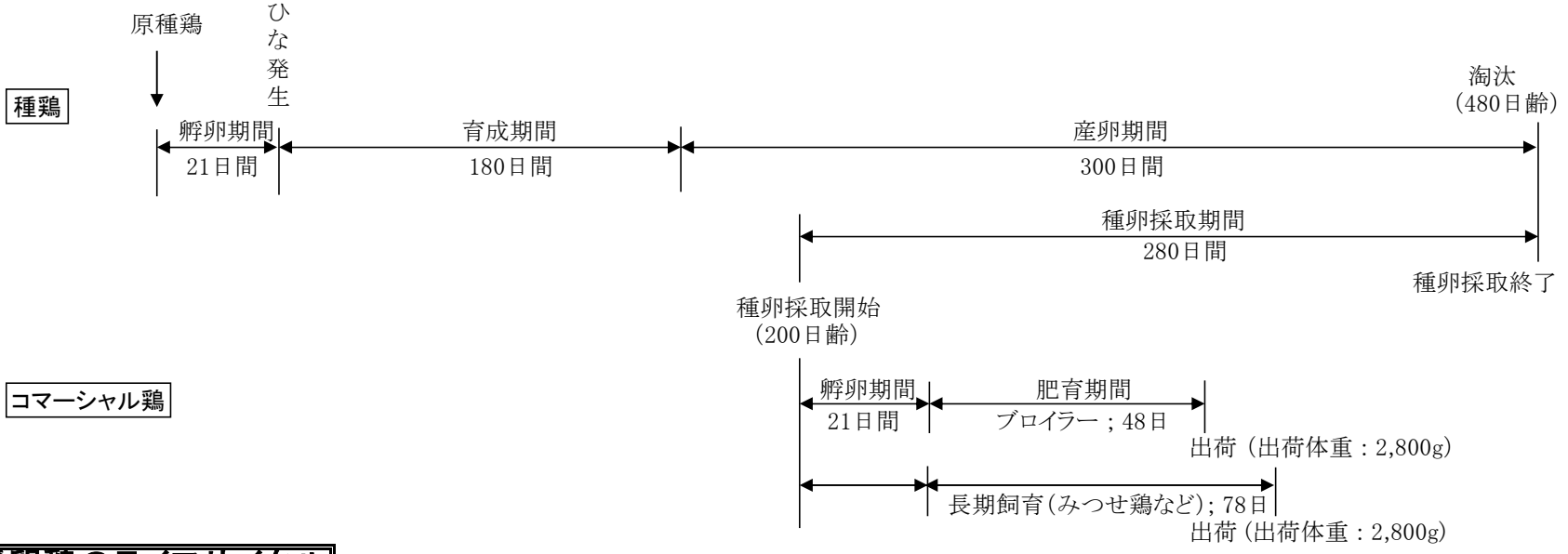
乳用牛のライフサイクル



豚のライフサイクル



肉用鶏のライフサイクル



採卵鶏のライフサイクル



Ⅱ 最近の畜産を巡る情勢

1 佐賀県における農業産出額の推移

○本県畜産部門の産出額は356億円で、農業全体の29.5%を占めている。

○品目別には、肉用牛が181億円でトップ、次いで鶏の101億円、豚の51億円となった。

(単位：億円、%)

区分(年次)	平成28	29年	30年	令和元年	2年	3年	R3年/H28年比
農業産出額	1,315 (100.0)	1,311 (100.0)	1,277 (100.0)	1,135 (100.0)	1,219 (100.0)	1,206 (100.0)	91.7
耕種	971	967	921	791	873	845	87.0
畜産	338 (25.7)	337 (25.7)	351 (27.5)	340 (30.0)	342 (28.1)	356 (29.5)	105.3
肉用牛	169 (12.9)	159 (12.1)	172 (13.5)	163 (14.4)	162 (13.3)	181 (15.0)	107.1
乳用牛	17 (1.3)	18 (1.4)	19 (1.5)	18 (1.6)	20 (1.6)	19 (1.6)	111.8
うち生乳	15 (1.1)	15 (1.1)	15 (1.2)	15 (1.3)	17 (1.4)	16 (1.3)	106.7
豚	55 (4.2)	57 (4.3)	48 (3.8)	49 (4.3)	52 (4.3)	51 (4.2)	92.7
鶏	95 (7.2)	100 (7.6)	110 (8.6)	108 (9.5)	105 (8.6)	101 (8.4)	106.3
うち鶏卵	13 (1.0)	15 (1.1)	14 (1.1)	14 (1.2)	12 (1.0)	13 (1.1)	100.0
その他	2 (0.2)	3 (0.2)	2 (0.2)	2 (0.2)	3 (0.2)	3 (0.2)	150.0

資料 農林水産省「農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」(令和5年3月17日公表)

注 農業産出額には、上記以外に加工農産物を含む。

各部門の計と内訳は、ラウンドの関係で一致しない場合がある。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数及び頭数

○本県肉用牛の飼養戸数は519戸で、5年間で16.7%減少し、飼養頭数は52,400頭で、5年間で1.4%増加した。

○農家1戸当たり飼養頭数は101.0頭/戸で、5年間で21.7%増加した。

【飼養戸数及び頭数】

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
飼養戸数	全国	48,300	46,300	43,900	42,100	40,400	38,600	79.9
	佐賀	623	608	576	554	532	519	83.3
飼養頭数	全国	2,514,000	2,503,000	2,555,000	2,605,000	2,614,000	2,687,000	106.9
	佐賀	51,700	52,100	52,300	52,600	52,800	52,400	101.4
1戸当たり飼養頭数	全国	52.0	54.1	58.2	61.9	64.7	69.6	133.8
	佐賀	83.0	85.7	90.8	94.9	99.2	101.0	121.7

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

ア 肥育牛飼養及び生産状況

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
肉 専 用 種	飼養戸数*	202	201	191	190	184	189	93.6
	飼養頭数*	35,200	35,600	36,500	36,500	36,600	36,400	103.4
	1戸当たり飼養頭数*	174.3	177.1	191.1	192.1	198.9	192.6	110.5
	出荷頭数**	22,452	22,456	22,325	21,836	21,945	-	-
乳 用 種	飼養戸数*	30	29	31	25	28	-	0.0
	飼養頭数*	1,330	1,140	1,060	1,130	1,220	-	0.0
	1戸当たり飼養頭数*	44.3	39.3	34.2	45.2	43.6	-	0.0
	出荷頭数**	1,084	907	846	792	966	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

出荷頭数は、家畜改良センターデータ「と畜頭数」(年度計)

注 *は年次計、**は年度計。

飼養戸数は延べ戸数。飼養頭数は、肥育農家(一貫農家を含む。)が哺育育成中又は肥育中の頭数。

イ 子取り用めす牛（繁殖牛）飼養及び肥育素牛生産状況

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
肉 専 用 種	繁殖牛飼養戸数*	468	452	440	420	407	398	85.0
	繁殖牛飼養頭数*	9,190	10,100	9,710	9,890	10,000	10,100	109.9
	一戸当たり繁殖牛飼養頭数*	19.6	22.3	22.1	23.5	24.6	25.4	129.6
	出生頭数**	8,027	8,210	8,266	8,298	8,046	-	-
	肥育素牛生産頭数**	6,421	6,568	6,612	6,638	6,436	-	-
	と畜頭数**	22,452	22,456	22,325	21,836	21,945	-	-
	肥育素牛県内自給率**	28.6	29.2	29.6	30.4	29.3	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」（令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表）

家畜改良センターデータ（出生頭数、と畜頭数）（年度計）

注 *は年次計、**は年度計。

肥育素牛生産頭数、と畜頭数、自給率は肉専用種（黒毛和種）のみの数値。

肥育素牛生産頭数は、出生頭数×0.8。

(2) 生産及び価格の動向

○本県の肉用子牛出荷頭数は6,206頭で、5年間で0.8%減少した。

○と畜頭数は22,911頭で、5年間で3.8%減少した。

【肉用子牛出荷頭数及びと畜頭数】

(単位：頭、%)

区分(年次)		29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
肉用子牛出荷頭数	全国	309,816	312,500	312,198	342,798	348,530	360,813	116.5
	佐賀	6,257	6,467	6,434	6,720	6,147	6,206	99.2
と畜頭数	全国	1,045,189	1,056,238	1,043,093	1,051,862	1,055,075	1,087,545	104.1
	佐賀	23,806	23,543	23,368	23,178	22,628	22,911	96.2
うち黒毛和種	全国	439,688	452,955	457,904	477,761	482,847	489,792	111.4
	佐賀	22,690	22,452	22,456	22,325	21,836	21,945	96.7
うち乳用種	全国	349,928	338,651	332,323	328,203	325,007	330,560	94.5
	佐賀	441	412	326	349	301	390	88.4
うち交雑種	全国	239,632	249,012	236,905	228,052	228,798	248,612	103.7
	佐賀	667	672	581	497	491	576	86.4

資料 肉用子牛出荷頭数は農畜産業振興機構HP「肉用子牛取引状況表（中央家畜市場）」（年度計）

と畜頭数のうち全国値は農林水産省「食肉流通統計」（令和5年5月31日公表）（年度計）

と畜頭数のうち佐賀県の値は家畜改良センターデータ（年度計）

注 と畜頭数のうち黒毛和種の全国値は、「和牛」の頭数を採用。

【和子牛価格及び牛枝肉卸売価格】

(単位：円/頭、円/kg、%)

区分(年次)		平成29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
和子牛価格	全国	786,176	762,511	766,011	688,976	755,156	667,824	84.9
	佐賀	796,458	769,313	747,918	654,871	755,831	668,528	83.9
和牛去勢A-5価格(大阪)		2,830	2,846	2,794	2,522	2,767	2,664	94.1
和牛去勢A-4	〃	2,468	2,504	2,417	2,079	2,451	2,340	94.8
乳牛去勢B-3	〃	1,090	1,182	-	1,058	1,151	1,881	172.6
乳牛去勢B-2	〃	984	1,079	1,091	1,033	1,057	1,339	136.1

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

大阪市場の価格については農林水産省「食肉流通統計」(令和5年6月30日公表)

(3) 肉専用種枝肉格付状況の推移(黒毛和種去勢 4・5率)

○本県産牛肉の格付状況は、5年間で4・5率が9.6ポイント増加し、94.1%となった。

(単位：%、ポイント)

区分(年度)		29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年-H29年
4 率	全国	42.1	40.5	37.7	36.0	33.4	28.9	-13.2
	佐賀	41.9	39.7	36.0	32.0	28.6	26.4	-15.5
5 率	全国	40.0	43.2	48.8	52.2	56.7	62.7	22.7
	佐賀	42.5	47.2	51.8	59.4	64.0	67.7	25.2
合 計	全国	82.1	83.7	86.6	88.2	90.1	91.6	9.5
	佐賀	84.5	87.0	87.8	91.4	92.5	94.1	9.6

資料 (公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」

(4) 佐賀牛の出荷頭数

○肉質の改良や肥育技術の向上などにより、佐賀牛の発生率は年々向上している。

(単位：頭、%、ポイント)

区分(年度)		29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
JAグループ出荷頭数		16,619	16,124	16,391	16,259	16,091	15,987	96.2
佐賀牛の出荷頭数		9,702	10,224	11,099	12,114	12,741	13,116	135.2
佐賀牛の発生率		58.4	63.4	67.7	74.5	79.2	82.0	+23.6

資料 JAグループ佐賀

(5) 収益性の動向

○子牛生産における収益性は微減となったが、肥育牛生産における収益性は前年度からは改善した。

○交雑種の所得は、前年度からは改善した。

【収益性】

(単位：円/頭、%)

区分(年度)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	R3年-H28年
繁殖雌牛1頭当たり 所得(子牛生産費)	全国	419,609	370,773	336,995	327,905	243,981	260,554	△ 159,055
	九州	414,344	349,068	324,362	295,739	194,949	157,597	△ 256,747
去勢若齢肥育牛 1頭当たり所得	全国	249,292	123,445	54,041	70,929	△ 49,813	66,941	△ 182,351
	九州	237,520	82,104	6,097	38,707	△ 80,520	61,748	△ 175,772
交雑種肥育牛1頭当たり所得	九州	95,389	△ 25,336	△ 15,712	39,374	△ 104,939	△ 39,864	△ 135,253
乳用雄肥育牛1頭当たり所得	九州	11,092	△ 14,643	△ 12,138	△ 11,840	△ 35,635	△ 77,927	△ 89,019

資料 農林水産省「農業経営統計調査 令和3年度畜産物生産費」(令和5年3月30日公表)

(6) 輸入の動向

○牛肉の輸入量は約56万トンで、5年間で1.6%減少した。

○米国、豪州産で総輸入量の約9割を占めており、5年間で米国产は1.0%増加し、豪州産は30.2%減少した。

【輸入量】

(単位：トン、%)

区分(年度)	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
輸入量	571,854	619,686	622,366	590,992	569,107	562,505	98.4
うちアメリカ	230,606	254,324	245,377	252,705	221,918	232,994	101.0
うちオーストラリア	297,880	310,064	290,926	255,908	228,100	208,016	69.8

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」(令和5年10月6日公表)

3 酪農

(1) 飼養戸数及び頭数

○本県酪農の飼養戸数は34戸で、5年間で24.4%減少し、飼養頭数は1,970頭で、5年間で17.2%減少した。

○農家1戸当たり経産牛飼養頭数は45.3頭/戸で、5年間で12.0%増加した。

【飼養戸数及び頭数等】

(単位：戸、頭、頭/戸、kg/頭、%)

区分(年次)		30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
飼養戸数	全国	15,700	15,000	14,400	13,800	13,300	12,600	80.3
	都府県	9,540	9,070	8,520	8,120	7,740	7,240	75.9
	佐賀	45	43	41	40	39	34	75.6
飼養頭数	全国	1,328,000	1,332,000	1,352,000	1,356,000	1,371,000	1,356,000	102.1
	都府県	537,100	530,600	531,400	525,900	525,100	513,000	95.5
	佐賀	2,380	2,240	2,240	2,110	2,140	1,970	82.8
経産牛飼養頭数	全国	847,200	839,200	838,900	849,300	861,700	836,600	98.7
	都府県	385,700	374,700	379,100	379,000	380,800	366,600	95.0
	佐賀	1,820	1,640	1,760	1,640	1,650	1,540	84.6
未經産牛飼養頭数 (2歳未満)	全国	421,100	431,100	452,000	445,800	447,200	459,300	109.1
	都府県	129,000	132,700	126,500	120,600	117,200	120,000	93.0
	佐賀	520	520	380	360	390	340	65.4
1戸当たり経産牛 飼養頭数	全国	54.0	55.9	58.3	61.5	64.8	66.4	123.0
	都府県	40.4	41.3	44.5	46.7	49.2	50.6	125.2
	佐賀	40.4	38.1	42.9	41.0	42.3	45.3	112.0
経産牛1頭当たり 搾乳量	全国	8,636	8,767	8,806	8,938	8,941	-	-
	都府県	8,719	8,554	8,640	8,779	8,901	-	-
	佐賀	8,506	8,433	8,439	8,539	8,512	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

農林水産省「牛乳乳製品統計」(令和5年7月26日公表)

注 「経産牛1頭当たり搾乳量」(佐賀)：生乳生産量/{(当年の経産牛飼養頭数+次年の経産牛飼養頭数)/2} *1,000

(2) 生産及び価格の動向

○県プール乳価は112円/kgで、5年間で9.8%増加した。

【生乳生産量及び乳製品等の価格】

(単位：t、円/kg、円/25kg、%)

区分 (年次)		29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
生乳生産量	全国	7,276,523	7,289,227	7,313,530	7,438,218	7,592,061	7,617,473	104.7
	都府県	3,383,628	3,324,034	3,265,333	3,284,504	3,326,461	3,308,198	97.8
	佐賀	14,596	14,715	14,336	14,346	14,046	13,576	93.0
原料用バター価格		1,374	1,389	1,385	1,407	1,388	1,372	99.9
脱脂粉乳価格 (25kg)		17,912	17,952	17,873	17,698	17,598	17,580	98.1
佐賀県プール乳価		102	102	109	110	110	112	109.8

資料 農林水産省「牛乳乳製品統計」(令和5年7月26日公表)

「大口需要者向けの価格動向」(令和5年9月25日公表)

J Aグループ佐賀データ(佐賀県プール乳価)

注 バター及び脱脂粉乳価格は年度平均

都府県の生乳生産量は、全国値から北海道値を差し引いた値

佐賀県プール乳価は令和元年度から算出方法変更

(3) 収益性

○搾乳牛1頭当たりの所得は310,584円で、5年間で9.4%増加した。

【収益性】

(単位：円/頭、%)

区分 (年度)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	R3年/28年比
搾乳牛通年換算 1頭当たり所得	全国	309,312	306,277	291,225	278,479	261,994	211,136	68.3
	九州	283,964	272,140	306,593	270,046	303,314	310,584	109.4

資料 農林水産省「農業経営統計調査 令和3年度畜産物生産費」(令和5年3月30日公表)

4 養豚

(1) 飼養戸数及び頭数の動向

○本県養豚の飼養戸数は31戸で、5年間で31.1%減少し、飼養頭数は85,400頭で、5年間で1.7%増加した。

○農家1戸当たり飼養頭数は2,658頭/戸で、5年間で47.6%増加した。

【飼養戸数及び頭数】

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		30年	令和元年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
飼養戸数	全国	4,470	4,320	3,850	3,590	3,370	75.4
	佐賀	45	43	35	34	31	68.9
飼養頭数	全国	9,189,000	9,156,000	9,290,000	8,949,000	8,956,000	97.5
	佐賀	84,000	81,600	82,900	82,600	85,400	101.7
子取り用めす豚頭数	全国	823,700	853,100	823,200	789,100	791,800	96.1
	佐賀	7,460	7,390	7,160	6,660	6,470	86.7
1戸当たり飼養頭数	全国	2,056	2,119	2,413	2,493	2,658	129.3
	佐賀	1,867	1,898	2,369	2,429	2,755	147.6

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

注 令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

(2) 生産及び価格の動向

○本県の肉豚と畜頭数は99,795頭で、5年間で10.2%減少した。

○卸売価格は534円/kgで、5年間で6.2%減少した。

【と畜頭数及び枝肉価格】

(単位：頭、円/kg、%)

区分(年次)		29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
と畜頭数	全国	16,336,913	16,429,217	16,318,552	16,689,638	16,835,709	16,577,133	101.5
	佐賀	111,109	107,389	104,921	104,828	103,526	99,795	89.8
卸売価格(東京市場・省令)		569	520	525	565	547	534	93.8

資料 農林水産省「食肉流通統計」(令和5年6月30日公表)

(3) 豚肉の上物率（格付「極上」と「上」の割合）

(単位：％、ポイント)

区分(年度)	平成29年	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年-H29年
肉豚上物率	64.9	65.5	65.0	61.3	60.8	60.7	-4.2

資料 J Aグループ佐賀データ(令和5年10月現在)

(4) 収益性の動向

○肥育豚1頭当たりの所得は4,933円で、5年間で27.8%減少した。

【収益性】

(単位：円/頭、％)

区分(年度)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	R3年/28年
肥育豚1頭当たり所得	全国	9,169	10,729	7,504	7,596	9,712	4,533	49.4
	九州	6,912	10,409	8,477	7,592	10,302	4,993	72.2

資料 農林水産省「農業経営統計調査 令和3年度畜産物生産費」(令和5年3月30日公表)

(5) 輸入の動向

○豚肉の輸入量は約96万トンで、5年間で4.3%増加した。

【輸入量】

(単位：トン、％)

区分(年度)	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
輸入量	925,631	916,172	953,112	883,985	928,994	965,144	104.3
うちアメリカ	263,116	258,453	251,196	250,265	249,078	226,712	86.2
うちカナダ	214,035	223,342	236,255	235,430	226,213	208,376	97.4
うちスペイン	110,220	109,433	122,812	98,995	136,233	189,502	171.9
うちデンマーク	112,221	103,920	102,489	74,269	81,367	84,612	75.4

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」(令和5年9月6日)

5 採卵鶏

(1) 飼養戸数及び羽数の動向

○本県採卵鶏の飼養戸数は24戸で、5年間で20.0%減少し、飼養羽数は200千羽で、5年間で60.9%減少した。

○農家1戸当たり飼養羽数は8.3千羽/戸で、5年間で51.2%減少した。

【飼養戸数及び飼養羽数】

(単位：戸、千羽、千羽/戸、%)

区分(年次)		30年	令和元年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
飼養戸数	全国	2,200	2,120	1,960	1,880	1,760	80.0
	佐賀	30	30	26	24	24	80.0
飼養羽数	全国	181,950	182,368	183,373	182,661	172,265	94.7
	佐賀	511	484	319	267	200	39.1
成鶏めす飼養羽数	全国	139,036	141,792	140,697	137,291	128,579	92.5
	佐賀	368	363	283	230	184	50.0
1戸当たり飼養羽数	全国	82.7	86.0	93.6	97.2	97.9	118.4
	佐賀	17.0	16.1	12.3	11.1	8.3	48.8

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

注 戸数及び羽数は種鶏を除く

令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

(2) 生産及び価格の動向

○本県の鶏卵生産量は4,768トンで、5年間で34.0%減少した。

【出荷量及び価格】

(単位：トン、円/kg、%)

区分(年次)		29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
生産量	全国	2,601,173	2,627,764	2,639,733	2,632,882	2,574,255	2,596,725	99.8
	佐賀	7,219	6,731	7,069	6,290	5,415	4,768	66.0
卸売価格(東京・全農M・税抜)		202	171	182	170	215	251	124.3

資料 農林水産省「鶏卵流通統計」(令和5年5月31日公表)

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」(令和5年10月11日公表)

注 卸売価格については「年度平均」。

6 ブロイラー

(1) 飼養戸数及び羽数の動向

○本県ブロイラーの飼養戸数は62戸で、5年間で11.4%減少し、飼養羽数は3,949千羽で、3.8%増加した。

○農家1戸当たり飼養羽数は63.7千羽/戸で、5年間で17.1%増加した。

【飼養戸数及び飼養羽数】

(単位：戸、千羽、千羽/戸、%)

区分(年次)		30年	令和元年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
飼養戸数	全国	2,260	2,250	2,160	2,100	2,100	92.9
	佐賀	70	68	64	63	62	88.6
飼養羽数	全国	138,776	138,228	139,658	139,230	141,463	101.9
	佐賀	3,806	3,935	3,751	3,637	3,949	103.8
1戸当たり飼養羽数	全国	61.4	61.4	64.7	66.3	67.4	109.8
	佐賀	54.4	57.9	58.6	57.7	63.7	117.1

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

注 令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

(2) 生産及び価格の動向

○本県のブロイラー出荷羽数は17,863千羽で、5年間で9.5%増加した。

【出荷戸数・羽数及び価格】

(単位：千羽、円/kg、%)

区分(年次)		30年	令和元年	3年	4年	5年	R5年/H30年比
出荷羽数	全国	689,280	695,335	713,782	719,259	720,878	104.6
	佐賀	16,309	17,249	17,292	16,440	17,863	109.5
卸売価格(東京市場・もも)		611	592	636	713	—	—

資料 農林水産省「畜産統計」(令和5年2月1日現在、令和5年7月7日公表)

令和2年は農林業センサス実施年のため調査は休止している。

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」(令和5年10月11日公表)

注 卸売価格については「年度平均」。

(3) 輸入の動向

○ブロイラーの輸入量は約56万トンで、5年間で4.7%減少した。

○ブラジル、タイ産で総輸入量の97.7%を占めており、5年間でタイ産が大幅に増加している。

【輸入量】

(単位：トン、%)

区分(年度)	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
輸入量	593,028	544,910	572,118	552,832	594,223	565,031	95.3
うち中国	41	31	8	—	—	—	—
うちアメリカ	20,844	16,768	16,061	12,323	15,908	10,994	52.7
うちタイ	133,030	131,139	127,978	133,362	135,335	140,413	105.5
うちブラジル	434,446	394,503	424,479	404,647	440,458	411,629	94.7

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」(令和5年10月6日公表)

7 飼料

○飼料作物の作付面積は4,180haで、5年間で29.8%増加した。

【飼料作物作付面積】

(単位：ha、%)

区分(年次)		29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	R4年/H29年比
飼料作物作付面積	全国	985,100	970,300	961,600	955,700	1,001,000	1,026,000	104.2
	佐賀	3,220	3,360	3,380	3,460	3,780	4,180	129.8

資料 農林水産省「作物統計」(令和5年8月31日公表)

○配合飼料価格は、97,544円/トンで、5年間で53.4%増加した。

【配合飼料価格】

(単位：円/トン、%)

区分(年度)	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	R4年/H29年比
配合飼料価格(工場渡し価格)	63,588	66,951	66,769	67,556	80,485	97,544	153.4

資料 農林水産省生産局畜産部飼料課編 公益社団法人配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」(令和5年5月19日公表)

8 畜産環境保全

○家畜排せつ物法適用農家は、平成17年から全戸適正な処理を実施している。

【県内家畜ふん尿適正処理戸数(法適用農家)】

(単位：戸、%)

区分(年度)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	3年度	4年度	R4年/H28年比
畜産農家戸数	693	690	611	609	614	595	85.9
適正処理戸数	693	690	611	609	614	595	85.9
適正処理割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—

資料 「家畜保健衛生所調査」

注 令和2年度は調査していない。

佐賀県内で飼養されている牛及び豚、鶏一覧

農林	市町	乳用種		肉用牛※									牛総計		豚		採卵鶏		肉用鶏	
				肥育牛				繁殖牛												
		黒毛和種等		乳用雄牛及び交雑種		繁殖牛計		成牛	育成	子牛	のべ農場数	頭数	農場数	頭数	農場数	羽数(成鶏)	農場数	羽数		
		農場数	頭数	農場数	頭数	農場数	頭数	農場数	頭数	頭数									頭数	頭数
佐賀中部	佐賀市	5	81	5	478	x	x	21	780	511	70	199	31	1,339	5	14,962	17	67,548	7	283,620
	多久市	x	x	10	2,150			19	609	388	35	186	29	2,759	x	x	5	50,336	x	x
	小城市	x	x	12	1,109	x	x	12	590	408	25	157	24	1,699	x	x	4	68		
東部	鳥栖市							x	x	31	4	17	x	x			6	4,133	x	x
	神埼市	3	410	x	x	x	x	x	x	9			3	410			4	1,745	x	x
	吉野ヶ里町	x	x										x	x			x	x		
	基山町	x	x	x	x			x	x	8		x			x	x	x	x		
	上峰町			7	385								7	385						
	みやき町	x	x	x	x	x	x								x	x	4	40		
唐津	唐津市	9	339	48	11,427	3	310	145	5,322	3,316	545	1,461	205	17,398	12	28,847	9	86,476	17	1,163,000
	玄海町	4	258	18	5,235	4	18	28	1,561	1,075	137	349	54	7,072	x	x				
伊万里	伊万里市			51	8,659	x	x	34	843	540	202	101	85	9,502	x	x	8	5,354	14	631,986
	有田町			15	1,128			5	144	116	19	9	20	1,272	x	x	x	x	13	491,500
杵藤	武雄市	3	158	22	1,533	3	83	64	1,690	1,021	388	281	92	3,464	6	10,250	9	11,312	4	299,000
	大町町																x	x	x	x
	江北町			3	375			x	x	31	6	21	3	375			5	54,477	x	x
	白石町			20	1,774	5	274	31	1,561	981	243	337	56	3,609			4	14,140		
	鹿島市	x	x	15	1,885	x	x	23	1,324	863	217	244	38	3,209	x	x	3	41,668	x	x
	嬉野市	x	x	4	178			17	325	181	91	53	21	503	x	x	4	3,144	8	131,200
	太良町	x	x	8	625	x	x	27	951	604	185	162	35	1,576	7	14,808	x	x	16	927,200

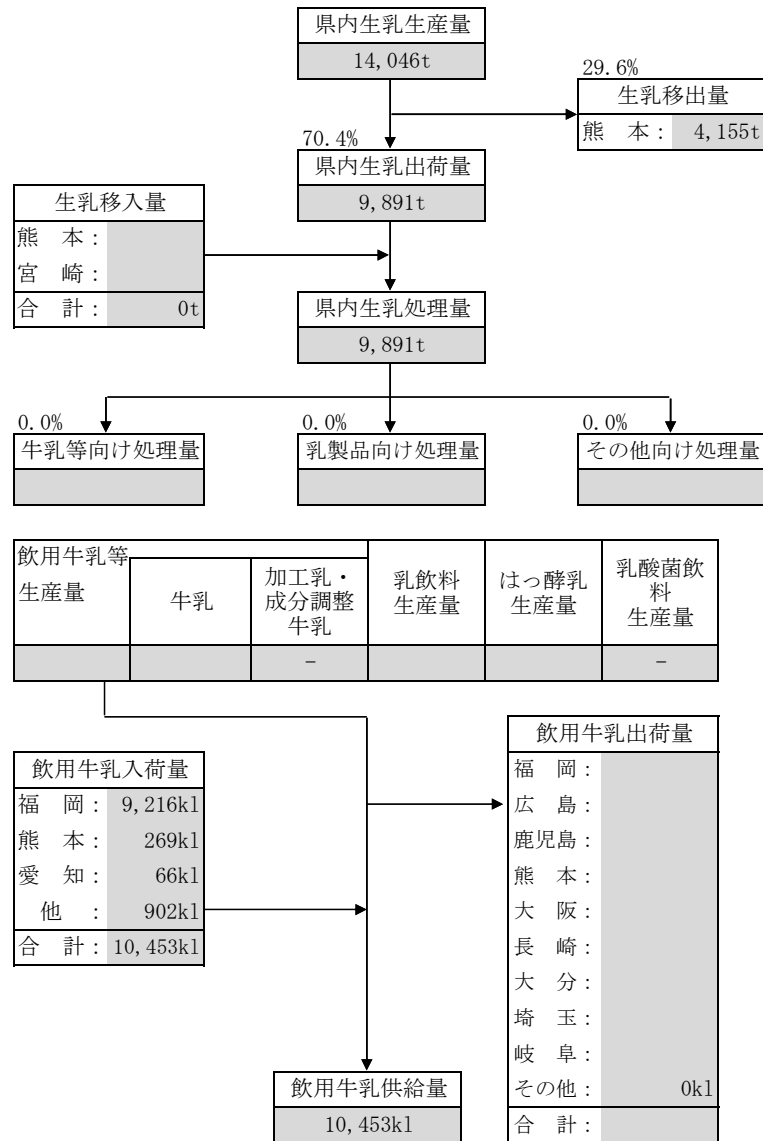
資料：「家畜保健衛生所調査」(令和4年2月現在)

※：肉用牛肥育の黒毛和種、乳用雄、交雑および繁殖牛の戸数はそれぞれで計上

※2「x」は秘匿数値

Ⅲ 畜産物の生産・流通状況

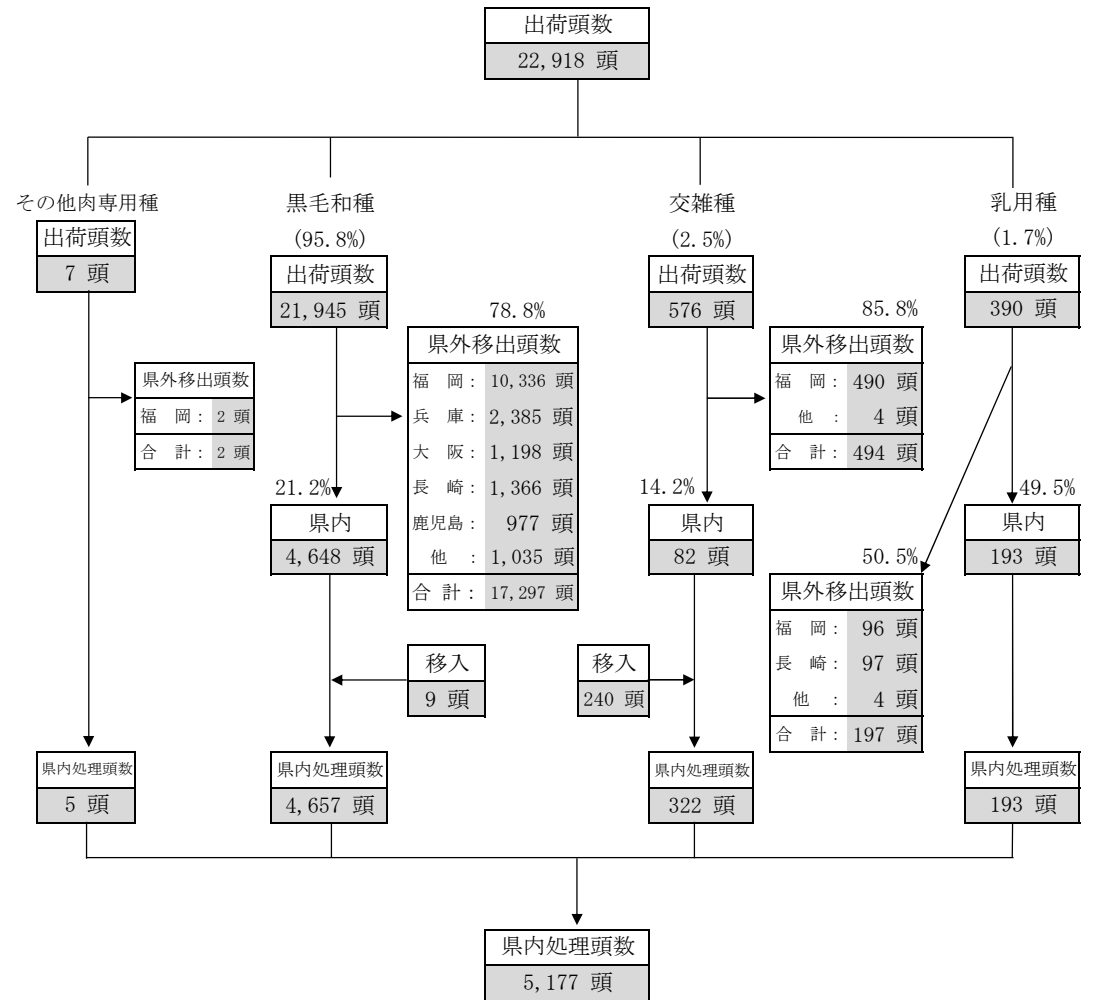
○ 牛乳流通図（令和3年）



(資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」)

※令和3年度以降公表なし

○ 肉牛流通図（令和4年度）



(資料：家畜改良センター(と畜頭数))

「佐賀牛」の概要

1 「佐賀牛」とは

「佐賀牛」とは、JAさがが定める基準に適合した牛肉で、その基準は次のとおり。

JAグループ佐賀管内で肥育した黒毛和牛で、(社)日本食肉格付協会が定める牛枝肉取引規格の格付で、
『肉質等級が4等級以上、かつ脂肪交雑のBMS値が7以上のもの』
 (佐賀牛のブランド力向上のため、平成16年にBMS値8以上から7以上に拡大)

2 佐賀牛の歴史【佐賀牛の基準】

- (1) 昭和36年より県産牛を関西市場へ出荷開始。
- (2) 50年代後半、肉質がよいことに注目され始める。
- (3) 59年から県経済連が、佐賀牛と表示して出荷。(歩留等級や肉質等級は問わず、全てを佐賀牛として販売。出荷先は、大阪、神戸、京都等。)
- (4) 62年度、A-5、B-5等級格付の「佐賀牛」を佐賀特選ブランドに選定し、63年度から佐賀牛のシールとともに佐賀特選ブランドシールを貼付して販売。
- (5) 平成2年8月に県内での「佐賀牛」取扱指定店の拡大と適正な表示販売を促進するため佐賀牛販売促進協議会が発足。
- (6) JAグループ佐賀では「佐賀牛」の量の確保とブランド力を高めるため、平成16年1月から定義基準を肉質等級5等級又は4等級のもので脂肪交雑のBMS値がNo.7以上までに拡大。
- (7) 佐賀牛販売促進協議会においても県内の「佐賀牛」として販売できる牛肉の基準を拡大。
- (8) 平成19年から「佐賀牛」香港輸出開始。

3 佐賀牛の販売認定店制度

「佐賀牛」を取り扱う販売店(小売店)の認定(指定)状況は下記のとおりである。

- (1) 県内
 県内に所在する販売店からの申請に基づき、「佐賀牛表示販売取扱要領」の要件を満たす場合に佐賀牛販売促進協議会(事務局:県流通・貿易課)が「佐賀牛販売店」として認定
163店舗(令和5年2月末現在)
- (2) 県外
 県外に所在する販売店からの申請に基づき、「佐賀牛取扱店舗指定店要領」の要件を満たす場合にJAさがが「佐賀牛取扱店」に指定。
873店舗(令和5年2月末現在)
- (3) 海外
121店舗(令和5年2月末現在)
 (香港31、シンガポール29、タイ17、フィリピン14、マカオ13、その他)

4 県産和牛出荷頭数及び4・5率の変遷等

年度	県産和牛 出荷頭数 (頭)	繁殖雌牛 飼養頭数 (頭)	子牛 取引頭数 (頭)	和牛枝肉 平均単価 (円/ kg)	肉質4,5等級率		佐賀牛 出荷頭数 (頭)
					佐賀県 (%)	全国 (%)	
17	24,690	9,820	6,151	1,998	59.9	54.8	4,792
18	24,886	9,470	6,307	2,001	61.8	55.5	4,742
19	25,023	10,200	6,236	1,926	58.7	56.5	4,830
20	26,338	11,200	6,898	1,735	61.5	59.0	5,884
21	27,158	11,700	7,344	1,616	62.1	58.3	6,137
22	27,164	11,500	7,507	1,590	62.8	57.2	6,211
23	28,075	11,100	7,207	1,590	63.8	58.8	6,668
24	27,307	10,100	6,796	1,698	67.5	63.0	7,221
25	26,933	9,540	6,591	1,847	65.2	58.1	7,905
26	25,739	9,400	6,317	1,956	77.9	73.5	9,090
27	24,060	9,080	6,149	2,345	81.6	78.0	9,452
28	23,132	9,070	6,174	2,540	82.5	80.3	9,352
29	22,690	9,230	6,440	2,416	84.5	82.1	9,702
30	22,452	9,190	6,557	2,466	86.9	83.7	10,224
R元	22,456	10,100	6,562	2,336	87.8	86.5	11,099
R2	22,325	9,710	6,774	2,215	91.4	88.2	12,114
R3	21,836	9,890	6,593	2,467	92.6	90.1	12,741
R4	21,945	10,000	6,770	2,397	94.1	91.6	13,116

資料: 出荷頭数: 「食肉流通統計」、H22から「家畜改良センターと畜頭数データ」

飼養頭数: 「畜産統計」 子牛取引頭数、和牛枝肉平均単価: 佐賀県農協調査

格付状況: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ)

注1: 佐賀県の格付状況は、全出荷先が対象。

2: 格付状況の本県と全国の比較は、平成14年度までは、5率(本県: 県経済連調査、全国: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ))で比較したが、平成15年度以降、4,5率の比較(本県、全国: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ))に変更。

3: 「佐賀牛」出荷頭数 平成15年度までは5率以上、平成16年度からはBMS7以上

5 「佐賀牛」生産の課題

- (1) 肥育素牛県内自給率の向上【県内肥育素牛自給率: 2022 29.3%】
 - ・佐賀県「食」と「農」の振興計画2019による目標値 2022 30.7%、2028 33.3%
- (2) 優良種雄牛の確保
 - ・平成8年度から肉用牛改良資源施設を運営開始
 - ・認定種雄牛(供用中) 「誠華山」、「照茂栄」、「豊晴福」

佐賀県肉用牛改良資源施設飼養 種雄牛一覽

令和5年5月31日現在（育種価評価 令和5年5月）

区分	種雄牛名	父	母方祖父	母方曾祖父	4代祖	5代祖	生年月日	産地・育種価・検定成績
選 抜	セイカザン 誠華山	百合茂	勝忠平	安平	隆桜	秀安	H25. 11. 18	産地:武雄市 育種価: HAAAAB(107頭) 直検: DG1. 46 現検: 枝重536. 3kg、BMS7. 8 (R元. 5月選抜)
	アレンクサカエ 照茂栄	福安照	百合茂	福栄	北国7の3	第20平茂	H26. 11. 15	産地:白石町 育種価: HHHBHA(46頭) 直検: DG1. 16 現検: 枝重550. 6kg、BMS9. 4 (R2. 5月選抜)
	トヨノレフク 豊晴福	豊茂国	平茂晴	福之国	安平	糸福 (大分)	H27. 10. 25	産地:玄海町 育種価: HHHCBH(29頭) 直検: DG=1. 28 現検: 枝重536. 1kg、BMS9. 6 (R3. 5月選抜)
検 定 中 〔 待 機 〕	ミンヒデヨシ 美津秀吉	美津照重	勝忠平	福栄	糸晴 (佐賀)	糸波	H30. 11. 28	産地:白石町 直検: DG=1. 36 R6. 5月選抜予定
	ニシヤクダマ 二尺玉	直太郎	勝忠平	安福久	百合茂	平茂勝	R元. 8. 11	産地:嬉野市 直検: DG=1. 38 R7. 5月選抜予定
	ミチトモ 美智久	美国桜	耕富士	安福久	平茂勝	安平	R2. 5. 30	産地:鹿島市 直検: DG=1. 20 R8. 5月選抜予定
直 接 検 定 牛	ミヅニ 美国85乃3	美国桜	白鵬85の3	百合白清2	勝安波	安平	R2. 11. 29	産地:伊万里市 直検: DG=1. 14
	キヌウハチ 九八	福之姫	百合茂	安福久	勝忠平	第5隼福	R3. 9. 8	産地:唐津市 直検: DG=1. 04
	タカ シラキヨ 貴白清2	貴隼桜	百合白清2	平茂晴	安福久	平茂勝	R4. 9. 11	産地:唐津市 直検: 令和5年4月開始
	フクノフク 福之福	福之姫	安亀忠	安福久	平茂晴	平茂勝	R4. 10. 16	産地:唐津市 直検: 令和5年5月開始予定
検 定 予 定	第27期 人工授精による作出 (R4. 4~人工授精開始)							
	第28期 人工授精による作出 (R5. 4~人工授精開始)							
全 農 種 雄 牛	マサヒラボシ 正平星	百合茂	勝忠平	第一花国	安福165の9	糸福 (大分)	H29. 2. 19	産地:北海道 H30. 3月搬入
	マンテンタロウ 満天太郎	金太郎3	百合茂	安福久	平茂勝	忠福	H29. 5. 29	産地:北海道 H31. 3月搬入
	ホクオウマル 北桜丸	勝早桜5	安福久	勝忠平	第5隼福	金徳	H31. 1. 13	産地:北海道 R2. 3月搬入
	キタ フク ホウ 北福峰	紀多福	白鵬85の3	美津照重	百合茂	美津福	R3. 4. 19	産地:北海道 R4. 3月搬入
	キ タ マンテン 紀多満天	紀多福	満天白清	耕富士	福之国	百合茂	R4. 7. 21	産地:北海道 R5. 5月搬入
連 携 事 業 団	ミナミツジ 南富士	美国桜	耕富士	安福久	勝忠平	神高福	R2. 5. 28	産地:小城市 直検: DG=1. 46 E黒045・R3後期調整交配 (令和4年9月1日譲渡)

○ 和牛枝肉販売実績表(JAグループさが)

販売先	令和元年度									令和2年度							
	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	
関西	南港	1,675	10.22	505.9	2,341	1,184,515	40.7	1,054	62.9%	1,523	9.37	515.1	2,239	1,153,335	45.6	1,026	67.4%
	神戸	1,593	9.72	459.2	2,356	1,081,961	46.8	1,221	76.6%	1,376	8.46	460.7	2,291	1,055,216	59.5	1,148	83.4%
	西宮	885	5.40	492.3	2,323	1,143,591	36.3	497	56.2%	817	5.02	489.6	2,132	1,043,963	42.4	534	65.4%
	京都																
	姫路	168	1.02	506.2	2,442	1,235,936	60.7	137	81.5%	168	1.03	519.3	2,379	1,235,546	65.5	152	90.5%
関東	東京	623	3.80	500.1	2,347	1,174,028	53.9	468	75.1%	622	3.83	504.8	2,234	1,127,602	54.3	511	82.2%
九州	畜産公社	2,360	14.40	462.2	2,232	1,031,497	48.0	1,487	63.0%	2,514	15.46	474.1	2,110	1,000,172	53.4	1,762	70.1%
	二日市	5,199	31.72	489.6	2,362	1,156,546	51.5	3,685	70.9%	4,824	29.67	489.9	2,214	1,084,857	59.4	3,696	76.6%
	福岡	2,939	17.93	484.9	2,359	1,143,880	47.4	2,013	68.5%	3,549	21.83	493.2	2,315	1,141,613	56.7	2,733	77.0%
	佐世保	172	1.05	420.4	2,248	944,985	29.7	84	48.8%	143	0.88	438.1	2,264	991,817	43.4	84	58.7%
	ナンテク	777	4.74	507.0	2,321	1,176,758	42.7	453	58.3%	723	4.45	511.3	2,147	1,097,863	43.3	468	64.7%
合計	16,391	100	484.3	2,336	1,131,397	47.4	11,099	67.7%	16,259	100	489.4	2,225	1,088,955	54.8	12,114	74.5%	

販売先	令和3年度									令和4年度							
	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	
関西	南港	1,407	8.74	511.4	2,475	1,265,488	59.9	1,102	78.3%	1,198	7.49	513.5	2,430	1,247,796	64.8	1,000	83.5%
	神戸	1,381	8.58	463.4	2,483	1,150,511	64.4	1,208	87.5%	1,235	7.73	462.5	2,418	1,118,407	70.0	1,116	90.4%
	西宮	747	4.64	486.5	2,407	1,171,119	47.9	523	70.0%	698	4.37	492.2	2,335	1,149,063	52.9	511	73.2%
	京都																
	姫路	168	1.04	523.8	2,596	1,359,454	84.7	163	97.0%	251	1.57	529.6	2,575	1,363,696	84.5	247	98.4%
関東	東京	620	3.85	494.0	2,397	1,184,277	60.0	522	84.2%	625	3.91	491.4	2,353	1,156,378	67.4	518	82.9%
九州	畜産公社	2,221	13.80	469.2	2,354	1,104,279	58.0	1,629	73.3%	2,243	14.03	482.2	2,333	1,125,070	62.9	1,402	62.5%
	二日市	4,382	27.23	483.7	2,470	1,194,688	60.1	3,445	78.6%	4,371	27.34	487.0	2,398	1,167,640	63.3	3,526	80.7%
	福岡	4,311	26.79	498.1	2,566	1,278,318	64.0	3,568	82.8%	4,527	28.32	503.8	2,462	1,240,110	65.3	3,885	85.8%
	佐世保	135	0.84	434.9	2,488	1,082,199	51.9	92	68.1%	114	0.71	423.2	2,291	969,354	51.8	76	66.7%
	ナンテク	719	4.47	512.3	2,449	1,254,705	51.7	489	68.0%	719	4.50	515.9	2,398	1,237,407	53.4	495	68.8%
その他									6	0.04							
合計	16,091	100	488.1	2,477	1,208,977	60.5	12,741	79.2%	15,987	100	493.1	2,411	1,188,679	64.0	12,776	79.9%	

※価格は税抜き

※JAさがから資料提供。

「佐賀牛」「佐賀産和牛」の年間輸出実績【全農インターナショナル分・県流通デザイン公社調べ】

単位:kg

	仕向先								合計	
	アメリカ	香港	シンガポール	タイ	マカオ	フィリピン	ベトナム	台湾		
平成19年度		10,240.6							10,240.6	
平成20年度	5,053.2	11,744.9							16,798.1	
平成21年度	7,841.9	8,575.7							16,417.6	
平成22年度	743.1	21,653.0							22,396.1	
平成23年度	0.0	21,722.4	2,413.1						24,135.5	
平成24年度	1,653.9	21,364.9	4,172.3	38.1					27,229.2	
平成25年度	5,099.7	27,229.5	3,248.2	836.5	112.0				36,525.9	
平成26年度	4,938.3	26,893.4	6,288.7	3,428.4		1,722.1			43,270.9	
平成27年度	5,661.9	28,523.1	6,131.1	3,311.5		2,230.3	420.4		46,278.3	
平成28年度	8,678.7	34,319.6	5,147.3	2,294.4		2,960.6	244.5		53,645.1	
平成29年度	6,027.3	34,651.1	6,374.4	5,347.6	1,767.2	2,354.9		663.5	57,186.0	
平成30年度	2,223.1	39,566.1	6,245.7	5,053.6	3,448.7	4,439.8	72.9	7,397.1	68,447.0	
令和元年度	667.1	36,482.3	6,160.0	5,511.0	3,466.5	6,721.5	1,855.4	2,799.3	63,663.1	
令和2年度	6,114.5	38,969.6	2,488.0	4,783.3	5,669.9	3,187.9	792.1	4,356.4	66,361.7	
令和3年度	2,261.2	36,723.2	4,399.3	5,472.1	7,119.4	3,299.1	622.3	2,745.5	62,642.1	
令和4年度	1,719.3	33,290.0	5,815.7	8,762.2	5,675.0	5,695.3	896.5	5,014.7	66,868.7	
										前年対比
										106.7%

※アメリカ輸出は平成20年から、香港輸出は平成19年から開始した。

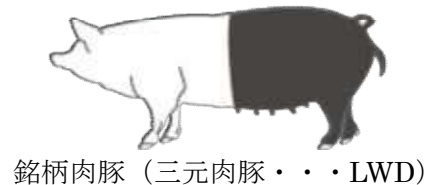
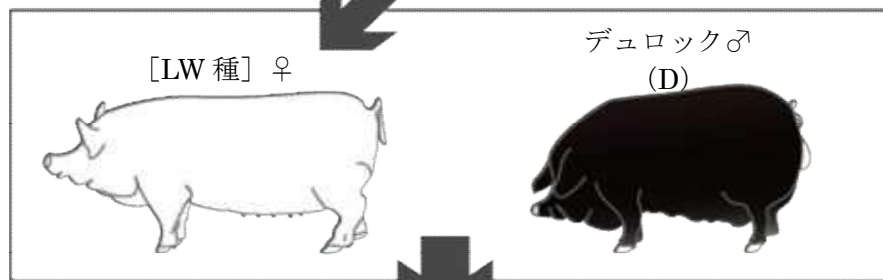
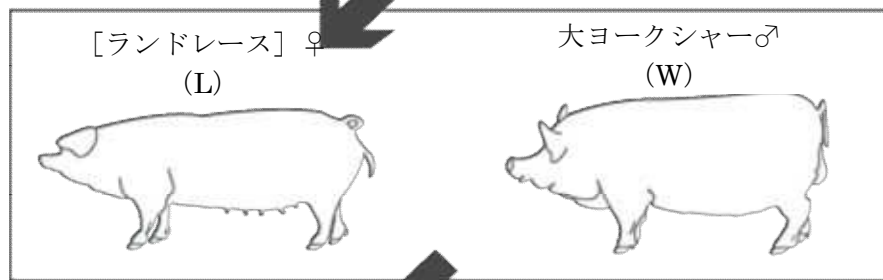
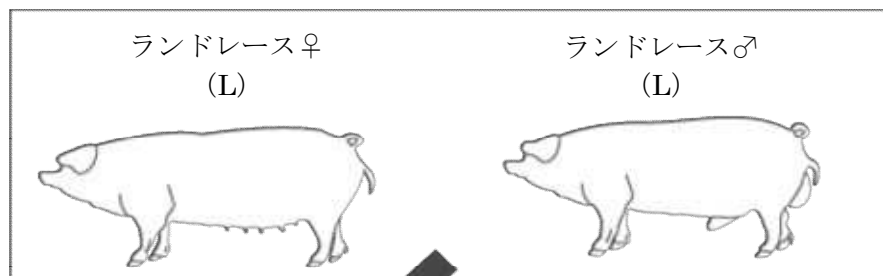
※アメリカ向けは、H22.5以降口蹄疫発生の影響で輸出停止し、H24.8より輸出再開。タイ輸出はH25.3より、フィリピン輸出は、H26.8より開始した。

〈参考：香港における佐賀県産牛肉の輸出シェア率〉

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
日本産牛肉輸出実績	226,538.0	175,559.0	294,725.0	298,349.0	437,517.0	503,949.0	719,305.0	769,846.0	773,285.0	873,601.0	1,199,553.0	1,326,234.0	-
佐賀県産牛肉輸出実績	21,653.0	21,722.4	21,364.9	27,299.5	26,893.4	28,523.1	34,319.6	34,651.1	39,566.1	36,482.3	38,969.6	36,723.2	67,918.1
佐賀県産牛肉輸出シェア率	9.6%	12.4%	7.2%	9.2%	6.1%	5.7%	4.8%	4.5%	5.1%	4.2%	3.2%	2.8%	-

※流通・貿易課作成資料

○「肥前さくらポーク」の概要 ～佐賀県産銘柄肉豚の生産体系～



特 徴

- ・ 限定農家から生産され、生産地が明確。
- ・ 安全性を基本とした専用飼料により生産。
- ・ 豚肉独特の臭みが少なく、肉のキメが細かく、軟らかい。
- ・ 肉色は鮮やかなさくら色。

技術

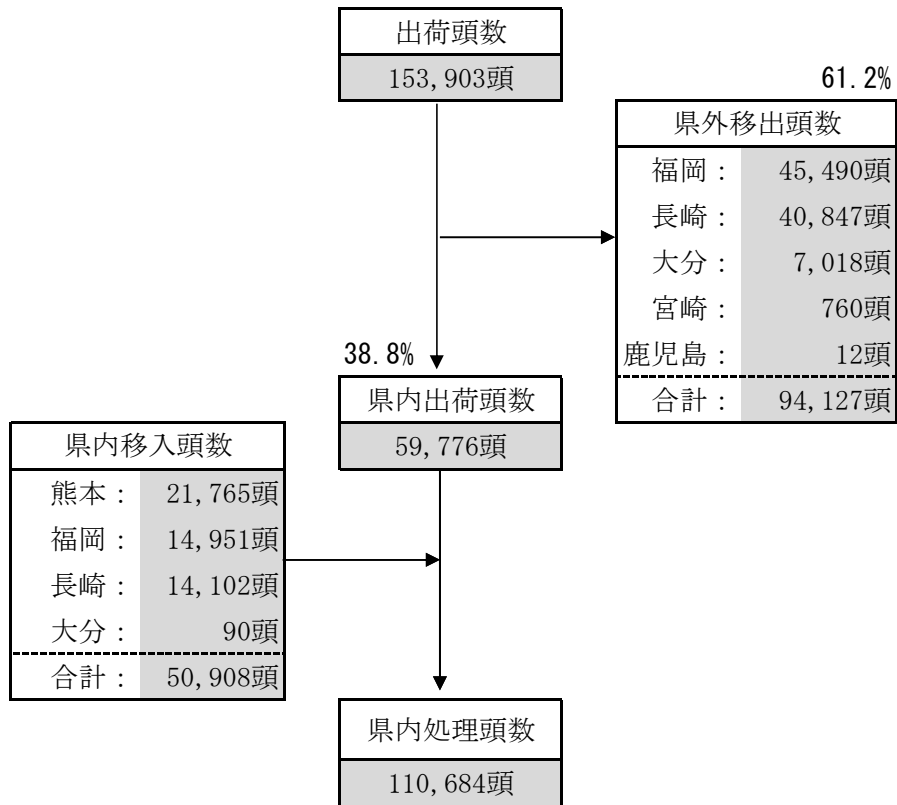
- ・ この品質の良さは、なにより農家の生産技術の高さにあり、佐賀県における「上物」の割合はおおむね 61%となっています。
- ・ 成長に合わせて JA 養豚用飼料を給与し、豚自体が持つ消化吸収や抗病性を高め健康な発育を促し、さらに肉質や脂質の向上を図っている。

年 度	H28 年	H29 年	H30 年	R 元年	R2 年	R3 年
出荷頭数	20,426	19,444	19,124	18,770	20,390	16,721

(資料：J A さが調査 R5.7 現在)

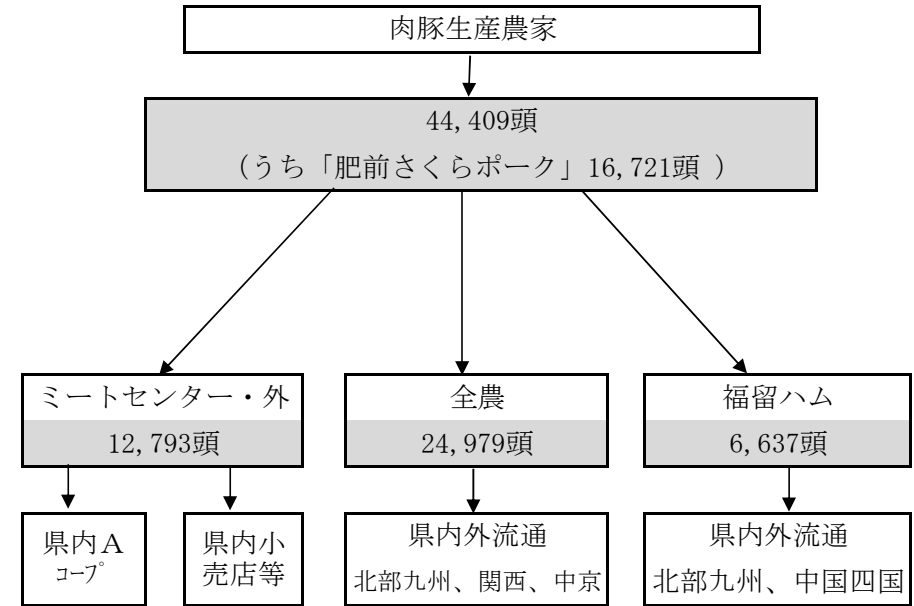
- ・ 平成 6 年度から、県経済連が銘柄肉豚「肥前さくらポーク」として販売開始
- ・ 令和 3 年度の出荷頭数は 16,721 頭で、J A グループ佐賀の肉豚総出荷頭数 (44,409 頭) の 37.7% を占める。
- ・ 生産農家戸数は、J A 系統農家 10 戸中 7 戸で、肥前さくらポークの生産者には出荷奨励金の支給が行われている (令和 4 年 4 月現在)。

○ 肉豚流通図（平成21年）



(資料：農林水産省「畜産物流通統計」)
※平成22年以降公表なし

○ 肥前さくらポーク流通図（令和3年度）



(資料：JAさが調査R5.7現在)

食料自給率・供給量の推移

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
肉類	自給率(%)	90	76	81	57	54	56	57	56	54	55	55	55	54	53	52	51	52	53	53	53
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		17.9	22.9	28.5	28.5	28.5	28.6	29.1	29.6	30.0	30.1	30.2	30.7	31.6	32.7	33.3	33.4	33.5	34.0	34.0
うち牛肉	自給率(%)	95	81	72	39	43	44	43	42	40	42	41	42	40	38	36	36	35	36	38	39
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		2.5	3.9	7.5	5.6	5.7	5.9	5.9	6.0	5.9	6.0	5.9	5.8	6.0	6.3	6.5	6.5	6.5	6.2	6.2
うち豚肉	自給率(%)	100	86	86	62	50	52	55	53	52	53	54	51	51	50	49	48	49	50	49	49
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		7.3	9.3	10.3	12.1	11.7	11.5	11.7	11.9	11.8	11.8	11.9	12.2	12.4	12.8	12.8	12.8	12.9	13.2	13.1
うち鶏肉	自給率(%)	97	97	92	69	67	70	70	68	66	66	66	67	66	65	64	64	64	66	65	64
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		5.3	8.4	10.1	10.5	10.8	11.0	11.3	11.4	12.0	12.0	12.2	12.6	13.0	13.4	13.7	13.9	13.9	14.4	14.6

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
鶏卵	自給率(%)	100	97	98	96	94	96	96	96	95	95	95	95	96	97	96	96	96	97	97	97
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		13.7	14.5	17.2	16.6	16.8	16.6	16.5	16.6	16.7	16.8	16.7	16.9	16.9	17.4	17.4	17.6	17.2	17.2	16.9

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
牛乳・乳製品	自給率(%)	86	81	85	72	68	70	71	67	65	65	64	63	62	62	60	59	59	61	63	62
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		53.6	70.6	91.2	91.8	86.3	84.8	86.4	88.6	89.5	89.0	89.6	91.1	91.3	93.4	95.2	95.5	92.4	94.4	93.9
うち飲用向け	自給率(%)		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		28.1	35.2	40.6	36.7	34.2	32.7	31.8	31.6	31.1	30.8	30.4	30.8	31.1	31.1	31.2	31.2	31.6	31.5	31.1
うち乳製品向け	自給率(%)		60	69	49	47	51	53	48	45	46	45	43	43	42	40	39	40	41	44	43
	1人1年当たり供給純食糧(kg)		24.8	35.0	50.4	54.9	51.8	51.9	54.5	56.8	58.2	58.0	59.0	60.2	60.0	62.1	63.8	64.0	62.0	62.8	62.7

区分(年度)		S40	S50	S60	H7	H17	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4(概算)
飼料	自給率(%)	55	34	27	26	25	26	25	25	26	26	26	27	28	27	26	25	25	25	25	26

資料：農林水産省「食料需給表」(令和5年8月7日公表)

家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在市別ランキング(令和2年～令和4年) 出典:総務省統計局「家計調査結果」

令和2年～令和4年平均の家計調査品目別データ(二人以上の世帯(1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量))により、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、都道府県庁所在市別ランキング(川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市を含む)を集計されたもの。(肉類)

順位	肉類		順位	生鮮肉		順位	牛肉		順位	豚肉		順位	鶏肉		順位	合いびき肉		順位	他の生鮮肉	
	-----<金額>-----			-----<金額>-----			-----<金額>-----			-----<金額>-----			-----<金額>-----			-----<金額>-----			-----<金額>-----	
	全国	97,501		全国	78,812		全国	23,080		全国	32,413		全国	17,189		全国	3,002		全国	3,126
1	京都市	118,088	1	京都市	99,518	1	京都市	39,377	1	横浜市	37,485	1	福岡市	21,612	1	鳥取市	4,913	1	札幌市	5,214
2	大津市	116,076	2	奈良市	98,063	2	奈良市	38,966	2	さいたま市	36,639	2	宮崎市	21,556	2	熊本市	4,905	2	熊本市	4,867
3	奈良市	115,591	3	大津市	96,464	3	大津市	36,702	3	新潟市	36,309	3	京都市	20,995	3	金沢市	4,565	3	大阪市	4,614
4	大阪市	112,099	4	大阪市	94,507	4	堺市	36,409	4	浜松市	35,994	4	熊本市	20,858	4	岡山市	4,409	4	北九州市	4,408
5	堺市	111,929	5	堺市	94,271	5	大阪市	35,113	5	東京都区部	35,972	5	鹿児島市	20,850	5	高知市	4,385	5	山形市	4,274
17	佐賀市	103,007	14	佐賀市	85,613	13	佐賀市	29,326	38	佐賀市	30,231	15	佐賀市	18,574	14	佐賀市	4,094	16	佐賀市	3,388

順位	生鮮肉		順位	牛肉		順位	豚肉		順位	鶏肉		順位	合いびき肉		順位	他の生鮮肉	
	-----<数量: g>-----			-----<数量: g>-----			-----<数量: g>-----			-----<数量: g>-----			-----<数量: g>-----			-----<数量: g>-----	
	全国	52,296		全国	6,709		全国	22,614		全国	18,395		全国	2,316		全国	1,696
1	広島市	61,489	1	奈良市	9,818	1	新潟市	27,525	1	福岡市	23,614	1	熊本市	3,827	1	札幌市	2,844
2	熊本市	60,851	2	大阪市	9,618	2	さいたま市	26,101	2	熊本市	23,485	2	鳥取市	3,787	2	山形市	2,577
3	福岡市	58,312	3	堺市	9,552	3	横浜市	25,817	3	宮崎市	22,761	3	金沢市	3,680	3	広島市	2,486
4	宮崎市	57,744	4	山形市	9,410	4	静岡市	25,683	4	広島市	22,109	4	岡山市	3,518	4	宮崎市	2,303
5	奈良市	57,515	5	山口市	9,323	5	相模原市	25,563	5	大分市	21,880	5	広島市	3,396	5	那覇市	2,229
6	佐賀市	57,151	16	佐賀市	8,267	27	佐賀市	21,544	6	佐賀市	21,205	6	佐賀市	3,349	10	佐賀市	2,079

順位	加工肉 -----〈金額〉-		順位	ハム -----〈金額〉-		順位	ソーセージ -----〈金額〉-		順位	ベーコン -----〈金額〉-		順位	他の加工肉 -----〈金額〉-	
	全国	18,690		全国	4,984		全国	7,747		全国	2,749		全国	3,210
1	山形市	21,374	1	横浜市	6,590	1	青森市	9,066	1	山形市	3,568	1	那覇市	6,466
2	青森市	21,038	2	神戸市	6,054	2	山形市	8,969	2	横浜市	3,287	2	札幌市	4,846
3	札幌市	20,736	3	相模原市	6,012	3	浜松市	8,916	3	静岡市	3,281	3	青森市	4,306
4	相模原市	20,638	4	岐阜市	5,871	4	富山市	8,608	4	川崎市	3,257	4	山形市	4,257
5	横浜市	20,484	5	大津市	5,831	5	金沢市	8,561	5	札幌市	3,256	5	福井市	4,031
39	佐賀市	17,394	32	佐賀市	4,628	43	佐賀市	7,185	27	佐賀市	2,691	28	佐賀市	2,890

順位	ハム -----〈数量: g〉-		順位	ソーセージ -----〈数量: g〉-		順位	ベーコン -----〈数量: g〉-	
	全国	2,626		全国	5,575		全国	1,669
1	岐阜市	3,264	1	青森市	6,609	1	那覇市	2,309
2	相模原市	3,191	2	山形市	6,538	2	山形市	2,262
3	大津市	3,157	3	富山市	6,382	3	札幌市	2,186
4	横浜市	3,154	4	金沢市	6,211	4	川崎市	2,003
5	福井市	3,071	5	浜松市	6,134	5	相模原市	1,970
36	佐賀市	2,335	42	佐賀市	5,091	19	佐賀市	1,714

家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在市別ランキング(令和2年～令和4年) 出典:総務省統計局「家計調査結果」

令和2年～令和4年平均の家計調査品目別データ(二人以上の世帯(1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量))により、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、都道府県庁所在市別ランキング(川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市を含む)を集計されたもの。(乳卵類)

順位	乳卵類 -----<金額>-----		順位	牛乳 -----<金額>-----		順位	乳製品 -----<金額>-----		順位	ヨーグルト -----<金額>-----		順位	バター -----<金額>-----		順位	チーズ -----<金額>-----		順位	卵 -----<金額>-----	
	全国	48,639		全国	15,285		全国	23,103		全国	13,731		全国	1,334		全国	6,687		全国	10,250
1	東京都区部	54,849	1	京都市	18,727	1	東京都区部	28,188	1	福島市	17,005	1	東京都区部	1,861	1	東京都区部	9,367	1	福島市	12,258
2	千葉市	53,896	2	松江市	17,758	2	横浜市	26,610	2	前橋市	16,198	2	札幌市	1,743	2	さいたま市	8,608	2	奈良市	11,927
3	京都市	53,553	3	神戸市	17,539	3	さいたま市	26,593	3	山形市	15,852	3	千葉市	1,662	3	横浜市	8,454	3	鳥取市	11,626
4	奈良市	53,491	4	千葉市	17,247	4	千葉市	26,341	4	盛岡市	15,712	4	横浜市	1,624	4	川崎市	8,038	4	高知市	11,475
5	横浜市	53,281	5	鳥取市	16,964	5	前橋市	25,838	5	千葉市	15,601	5	京都市	1,615	5	札幌市	8,023	5	大津市	11,468
43	佐賀市	44,100	45	佐賀市	13,404	40	佐賀市	20,470	30	佐賀市	13,123	44	佐賀市	1,046	46	佐賀市	5,319	26	佐賀市	10,226

順位	牛乳 -----<数量:リットル>-----	
	全国	75.22
1	千葉市	87.64
2	京都市	87.61
3	神戸市	85.88
4	川崎市	84.18
5	岡山市	83.76
46	佐賀市	64.35

順位	バター -----<数量: g>-----		順位	チーズ -----<数量: g>-----		順位	卵 -----<数量: g>-----	
	全国	629		全国	3,975		全国	32,931
1	東京都区部	852	1	東京都区部	5,058	1	鳥取市	39,593
2	札幌市	848	2	さいたま市	4,986	2	奈良市	38,360
3	横浜市	777	3	横浜市	4,957	3	新潟市	36,854
4	京都市	772	4	金沢市	4,692	4	富山市	36,694
5	千葉市	767	5	相模原市	4,658	5	山形市	36,619
47	佐賀市	467	45	佐賀市	3,167	37	佐賀市	32,092

IV 參考資料

配合飼料価格の推移について(佐賀県)

○令和4年度末現在、配合飼料価格は過去最高水準で推移している。トウモロコシ価格や大豆かすの相場は高値推移であり、中国の穀物需要が旺盛な中、ウクライナ危機の長期化や主産地の作柄不良が重なっている他に、為替相場も円安傾向が続いているのが大きな要因となっている。

○主原料であるトウモロコシ国際価格は令和2年8月ごろまではエタノール需要の減少を背景に3ドル/ブッシェル前半で推移していたが、9月以降、中国における需要増加やコロナ禍からの経済回復により上昇。令和3年4月末には7ドル/ブッシェルを突破した。その後5ドル/ブッシェルまで下降したものの、ウクライナ情勢を受けて上昇し8ドル/ブッシェルを突破した後下降したものの。米国の収量下方修正を受けて、令和5年4月現在は6ドル/ブッシェル中盤で推移している。

○大豆油かすの相場についてもトウモロコシの情勢と同じ動きの中、中国の飼料需要拡大を受け令和5年4月現在、460ドル/ショートトンで推移している。

○海上運賃は令和2年5月ごろはコロナ禍等により船舶需要の減少で40ドル/トン(フロリダ州～日本)を下回っていたが、その後の経済回復の動きから79ドル/トン(フロリダ州～日本)まで上昇し、令和5年4月現在は53ドル/トン(フロリダ州～日本)程度の推移となっている。

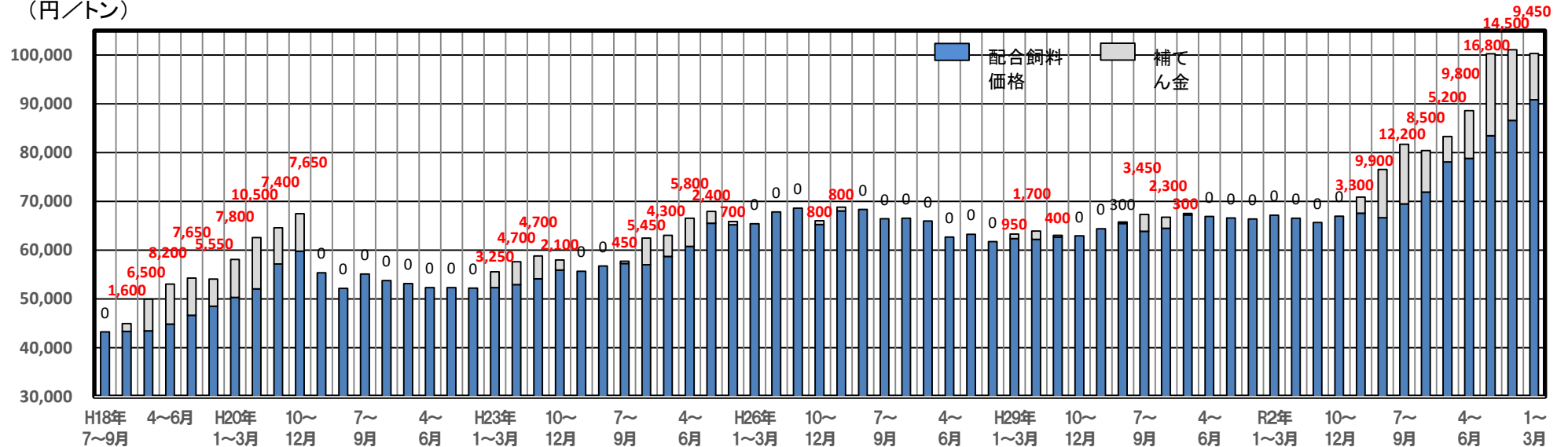
○配合飼料価格は上記のような要因により令和2年9月ごろまで66,000円前後で推移していたものが、急激に上昇し令和4年の第2四半期には100,000円台を突破した。それにより令和3年第1四半期から9期連続で通常補てん金と異常補てん金が発動した。

※1ブッシェル=25.4kg

※ショートトン=907.2kg

	H24年	R1年				R2年				R3年				R4年				R5年
	1～3月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
配合飼料価格	55,700	67,541	66,923	66,585	66,412	67,169	66,538	65,653	66,987	70,859	76,558	81,674	80,423	83,302	88,599	100,270	101,092	100,237
上下幅	△2,315	763	△618	△338	△173	757	△631	△885	1,334	3,872	5,699	5,116	△1,251	2,879	5,297	11,671	822	△855
農家負担額(推計)	55,700	67,241	66,923	66,585	66,412	67,169	66,538	65,653	66,987	67,559	66,658	69,474	71,923	78,102	78,799	83,470	86,592	90,787
上下幅	△215	2,763	△318	△338	△173	757	△631	△885	1,334	572	△901	2,816	2,449	6,179	697	4,671	3,122	4,195
補てん額	0	300	0	0	0	0	0	0	0	3,300	9,900	12,200	8,500	5,200	9,800	16,800	14,500	9,450

(円/トン)



○高病原性鳥インフルエンザとは

1. 原因（病原体）・・・ 鳥インフルエンザウイルスのうち高病原性のもの
(*Orthomyxoviridae Influenza virus A*)
2. 感受性動物・・・ 鶏、あひる、七面鳥、うずら等
3. 症 状・・・ 神経症状（首曲がり、沈うつ等）、呼吸器症状、消化器
症状（下痢、食欲減退等）、高い死亡率が主な症状
4. 潜伏期間・・・ 2～6日
5. 伝播様式・・・ 空気及び接触感染
6. 発生状況
(1) 国 内
1925年（大正14年）
奈良県、千葉県、東京府（当時）
2003年度（平成15年度）：3県4事例 約41万羽 殺処分
山口県、大分県、京都府
2005年度（平成17年度）：2県41事例（低病原性）約578万羽 殺処分
茨城県、埼玉県
2006年度（平成18年度）：2県4事例 約17万羽 殺処分
宮崎県、岡山県
2009年度（平成20年度）：1県7事例（低病原性）約160万羽 殺処分
愛知県
2010年度（平成22年度）：9県24事例 約183万羽 殺処分
島根県、愛知県、宮崎県、鹿児島県、三重県、奈良県、和歌山県、
大分県、千葉県
2014年度（平成26年度）：5県6事例 約46.4万羽 殺処分
熊本県、宮崎県、山口県、岡山県、佐賀県
2016年度（平成28年度）：9県12事例 約166.7万羽 殺処分
青森県、新潟県、北海道、宮崎県、熊本県、岐阜県、佐賀県、宮城県、
千葉県

2017年度（平成29年度）：1県1事例 約9.1万羽 殺処分
香川県

2020年度（令和2年度）：18県52事例 約987万羽 殺処分
香川県、福岡県、兵庫県、宮崎県、奈良県、広島県、大分県、和歌山県、
岡山県、滋賀県、高知県、徳島県、千葉県、岐阜県、鹿児島県、富山県、
茨城県、栃木県

2021年度（令和3年度）：12道県25事例 約189万羽 殺処分
秋田県、鹿児島県、兵庫県、熊本県、千葉県、埼玉県、広島県、青森県、
愛媛県、岩手県、宮城県、北海道

2022年度（令和4年度）：26道県84事例 約1,771万羽 殺処分
岡山県、北海道、香川県、茨城県、和歌山県、兵庫県、鹿児島県、新潟県、
宮崎県、青森県、宮城県、千葉県、福島県、鳥取県、愛知県、佐賀県、
山形県、広島県、沖縄県、埼玉県、福岡県、長崎県、群馬県、大分県、
滋賀県、岩手県

(2) 外 国 アジア、欧州、アフリカ等
(東南アジア、中東及び中国では、人への感染の報告あり)

7. 診断法

- (1) 臓器、糞便からのウイルス分離を行う。
- (2) 血清学的検査で抗体の確認を行う。

8. 予防法・・・ 鶏用のワクチンは一部の国で限定的に使用。

9. 治療法

- (1) なし。
- (2) 発生した場合は、摘発・淘汰によりまん延を防止する。

○ 口蹄疫とは

1. 原因（病原体）・・・ 口蹄疫ウイルス（Foot-and-mouth disease virus）
2. 感受性動物・・・ 偶蹄類の動物
（牛、水牛、めん羊、山羊、豚、鹿、いのしし）
3. 症状・・・ 突然 40～41℃の発熱、元気消失に陥ると同時に多量の流涎（よだれ）がみられ、口、蹄、乳頭等に水泡を形成し、食欲不振、跛行（足をひきずる）を呈する。乳用牛の場合には泌乳量が低下し、肉用家畜の場合は肥育効率が低下する等家畜の経済能力が著しく低下する。人に感染することはない。
4. 潜伏期間・・・ 2～14日
5. 伝播様式・・・ 感染動物との接触（飛沫感染）、感染動物の生産物、汚染物品により伝播
6. 発生状況
（1）国内
1908年（明治41年）東京、神奈川、兵庫、新潟 計522頭
2000年（平成12年）3、4月 宮崎県2戸20頭（疑似患者35頭）
5月 北海道1戸2頭（疑似患者705頭）
2010年（平成22年）4月～7月 宮崎県292戸 211,608頭

（2）外国 アジア、アフリカ、南米 他
7. 診断法
（1）血清学的検査により抗体の確認を行う。
（2）水泡材料から、ウイルス分離を行うとともに、抗原検出ELISA法、PCR検査によりウイルス遺伝子等を確認する。
8. 予防法・・・ 不活化ワクチンが用いられているが、現在は発症家畜の淘汰による清浄化の推進が中心となりつつある。
我が国では厳重な検疫を実施（発生国からの畜産物等の輸入禁止措置等）している。
9. 治療法
（1）なし。
（2）発生した場合は、家畜伝染病予防法に基づき、まん延防止のため家畜の所有者による殺処分等の対象とされる。

○ 牛海綿状脳症（BSE）とは

1. 原因（病原体）・・・ 異常プリオン（タンパク質の一種）
2. 感染・・・ BSEに感染した牛の脳、脊髄、リンパ組織等を含む飼料の摂取により、経口感染する。
3. 感受性動物・・・ 牛、水牛
4. 症状・・・ 2年以上の長い潜伏期間の後、行動異常、運動失調などの神経症状を呈し、発病後2週間から6ヶ月の経過で死に至る。
中枢神経、特に延髄、橋及び中脳の神経細胞の原形質に空胞を形成し、基質に海綿状を呈する。
5. 発生状況
（1）国内・・・我が国で乳用種32頭、黒毛和種4頭の発生。
（2）外国・・・英国（グレート・ブリテン）において1986年に最初の発生が報告され、1992年から93年にピークとなった。
その後、EU諸国で発生が認められている。
6. 診断法
・歩行異常等の神経症状を確認する。
・脳を顕微鏡検査により確認する。
・脳からプリオンの検出を行う。
7. 予防法
（1）動物検疫による発生国からの畜産物等の輸入禁止措置等の等の実施。
（2）家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病とされており、発生時の届出による発生状況の迅速な把握。
（3）反すう動物を原料とした飼料及びペットフードを牛に給与しない。
8. 治療法
（1）なし
（2）発生した場合、患者及び疑似患者は伝達性海綿状脳症として家畜伝染病予防法に基づき、殺処分等の対象とされる。

○ 豚熱（CSF：Classical swine fever）とは

1. 原因（病原体）・・・CSFウイルス（Classical swine fever virus）
2. 感受性動物・・・豚、イノシシ
3. 症状・・・ウイルスの株や豚の月齢・状態により、極めて多様な病原性を示す。特定症状に挙げられているものには、紫斑、高熱、結膜炎、後駆麻痺、発育不良、血液凝固不全、流死産、白血球数減少、死亡頭数増加等がある。
4. 潜伏期間・・・2～6日（急性型）
5. 伝播様式・・・感染動物との直接接触（経口・経鼻）、汚染された器具、人との接触による。豚肉製品中に長期間存在しているので、厨芥、残飯が伝播源として重要。
6. 発生状況
 - （1）国内
2018年（平成30年）9月、岐阜県で26年ぶりに発生。
令和5年3月現在で、18都県・計86事例で発生している。
 - （2）外国
北米、オーストラリア、スウェーデンなどでは清浄化。
7. 診断方法
 - （1）血清学的検査（抗体の検出）
 - （2）扁桃、脾臓等を用いた抗原検査（ウイルス分離検査、PCR検査及び蛍光抗体法）
8. 予防方法
飼養衛生管理基準の遵守による病原体の農場内侵入防止が原則。ただし農林水産大臣が推奨する地域では、都道府県知事の命令でワクチンが使用される。
9. 治療方法
 - （1）なし
 - （2）家畜伝染病予防法により、発生時には、まん延防止を目的とした家畜の所有者による殺処分の対象とされている。

○ ヨーネ病とは

1. 原因（病原体）・・・ヨーネ菌
Mycobacterium avium subspecies *paratuberculosis*
2. 感受性動物・・・牛、水牛、鹿、めん羊、山羊
3. 症状・・・多くは不顕性感染だが、分娩1ヶ月以内に発症することが多い。
1～2週間を周期とする間欠性の下痢、急激な消瘦、泌乳停止。下痢は難治性で、大部分では消瘦し、衰弱死する。
4. 伝播様式・・・主に感染した動物の糞便に汚染された乳汁、飼料又は飲水を介し、経口感染する。重症例では、胎盤感染も成立する。
5. 発生状況
 - （1）国内
1930年に初めて、輸入牛で確認されたが、1980年以降から、徐々に国産牛での発生が増加している。
 - （2）外国
北米、ヨーロッパ諸国、オーストラリアでも発生し、重要損耗疾病として注目されている。
6. 診断方法
 - （1）血清学的検査（抗体の検出）や遺伝子学的検査（リアルタイムPCR法）
 - （2）免疫学的検査では、遅延型過敏反応を検出するヨーニン反応がある。
 - （3）糞便から直接菌を確認する方法（抗酸菌染色）と、糞便、腸管、腸間膜リンパ節を用いた菌分離を行う。
7. 予防方法
有効なワクチン等はない。
感染牛の早期摘発・淘汰及び汚染物品の消石灰等による徹底的な消毒による。
8. 治療方法
 - （1）なし
 - （2）家畜伝染病予防法により、発生時には、まん延防止を目的とした家畜の所有者による殺処分の対象とされている。

○ 牛伝染性リンパ腫とは

1. 原因（病原体）・・・牛伝染性リンパ腫ウイルス（Bovine leukemia virus）
2. 感受性動物・・・牛、水牛
3. 症 状・・・地方病型、子牛型、胸腺型、皮膚型があり、地方病型が最も多い。不顕性感染が多く、発症した場合は消瘦、元気消失、食欲不振、眼球突出、下痢等や体表リンパ節の腫大等がみられる。子牛型、胸腺型（胸腺の腫大）、皮膚型（皮膚の限局性腫瘍）は散発している。
4. 潜 伏 期 間・・・数ヶ月から数年
5. 伝 播 様 式・・・水平伝播と垂直伝播が主で、水平伝播には、吸血昆虫によるもののほか、除角器、削蹄鎌、注射針又は直腸検査用手袋等の連続使用がある。
垂直感染には、子宮内（産道）感染がある。
6. 発 生 状 況
 - （1）国内
1927年に初めて発生して以来、全国にまん延している。
 - （2）外国
北米、南米大陸、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、ロシアなど多くの国に分布している。
7. 診断方法
 - （1）血清学的検査（抗体の検出）
 - （2）遺伝子学的検査
 - （3）病理組織学的検査
8. 予 防 方 法
有効なワクチン等はない。
感染牛の早期摘発・淘汰と非感染農場からの導入。
9. 治 療 方 法
 - （1）なし
 - （2）発生した場合には、発生場所の消毒、感染牛の淘汰などが望ましい。